

福島第一原子力発電所の状況

平成 27 年 2 月 26 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/26 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	15.3 °C	4.3 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	20.2 °C	5.38 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	17.9 °C	0.20 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (2/26 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.5 °C
2号機	循環冷却システム	停止中	26.8 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	22.0 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	8.2 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドへの注水を適宜実施。

【3号機】

・H27/2/25 6:16 使用済燃料プール(以下SFP)代替冷却系について、H26/12/17 より作業を再開している3号機燃料交換機本体撤去作業に伴い、撤去対象機器に残存している油がSFP代替冷却系へ混入するのを防止するため停止。冷却停止時のSFP水温度は 21.6°C。また、今回撤去対象機器に残存している油がSFP内に滞留した場合には、吸着マット等で油を回収する。併せてSFP代替冷却系の停止に併せて、当該系統に設置されている弁の動作確認を実施する。

15:34 作業が終了したことから、停止していたSFP代替冷却系について起動。起動後のSFP代替冷却系運転状態については異常なし。また、SFP水温度は冷却停止時の 21.6°Cから 22.0°Cまで上昇したが、運転上の制限値 65°Cに対して余裕があり、SFP水温度の管理上は問題ない。

なお、予定していた当該撤去作業については、周辺瓦礫の除去が完了しなかったことから、周辺瓦礫を除去した後に改めて実施することとし、3/3 6:00~16:00(約 10 時間)の間で、SFP代替冷却系を再度停止して当該撤去作業を行うこととした。3/3 に予定しているSFP代替冷却系停止時のSFP水温度上昇については、本日(2/25)と同程度の最大約 1°Cと評価しており、運転上の制限値 65°Cに対して余裕があることから、SFP水温度の管理上は問題ない。

【2号機】

・H27/2/26 9:10 使用済燃料プール(以下SFP)代替冷却系について、SFP代替冷却系の弁点検作業およびSFPコンプレッサーユニットの固定作業を行うため停止(2/26 23:00 起動予定)。冷却停止時のSFP水温度は 26.8°C。

なお、2号機SFP代替冷却系停止時のSFP水の温度上昇率は 0.142°C/hであり、停止中のSFP水温度上昇は最大で約 1.9°Cと評価しており、運転上の制限値 65°Cに対して余裕があることから、SFP水温度の管理上は問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	2/25 10:32 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	2/23 10:39 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/26 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)	増設多核種除去設備	高性能多核種除去設備
運転状況	停止中*1	停止中*1	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

・H27/2/5 10:00～ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。なお、閉塞材料の充填作業により、当該トレンチの水位上昇が予測されることから、福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画に定められている、運転上の制限(OP+3.5m)を超えないよう管理し、当該トレンチ内の滞留水を必要に応じて3号機タービン建屋(3号機タービン建屋の滞留水の状況により、2号機タービン建屋または4号機タービン建屋)へ断続的に移送。

H27/2/14～ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。また、グラウト充填工事により、当該トレンチの水位上昇が予測されることから、当該トレンチ内の滞留水を必要に応じて4号機タービン建屋に断続的に移送する。

H27/2/18 2号機海水配管トレンチ立坑Aにて、立坑上部の配管ダクトに設けたグラウト充填管の貫通部より、雨水が流入して水位が上昇したことから、2号機タービン建屋へ滞留水の移送を実施。雨水の流入箇所については、今後、流入防止措置を行うこととし、それまでの間、立坑Aに溜まった水については、適宜、2号機タービン建屋へ移送を行う。

・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、陸側遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。

6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

10/3～ 陸側遮水壁造成工事における凍結管設置に伴い、埋設物(トレンチ等)を貫通させて凍結管を設置する箇所を対象に、事前の溜まり水調査を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上